

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-58)、  
廃棄物管理施設(33)、MOX燃料加工施設(2-26))」

2. 日時：令和5年5月25日(木) 15時30分～17時30分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

#### 4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、大岡主任安全審査官、岸野主任  
安全審査官、田尻主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安  
全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官、山口係  
員、横山原子力規制専門員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX設工認総括副責任者 他3名

関西電力株式会社

原子力事業本部 プラント・保全技術グループマネジャー 他1名

#### 5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年5月24  
日の提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。

- ・今後の進め方
- ・社長を含めた日本原燃での情報共有

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・当面はMOX施設の閉込めとその関連条文から整理していくが、各条文を  
どのタイミングでどこまで説明するかといった全体像についても整理す  
る。
- ・重大事故等対処に係る条文については、溢水対策等の関連する条文の関係  
も含めて、再処理施設で具体的な説明内容、説明順序、関係性を整理して  
進めていく。
- ・竜巻対策等については、これまでの審査会合での指摘事項等を踏まえて設  
計方針の再整理等を行っており、まずは対応状況を説明し、順次、改めて

設計方針を説明する。

- ・ 令和5年5月24日の日本原燃の定例社長記者懇談会で補正の提出が秋頃になると発言した旨報道されているが、ステアリングチームとしては社長には審査が遅れている状況は事前に伝えている。社長においては、各ステークホルダーとの関係から従前の計画の下での発言をされたものと思われるが、コミュニケーションに大きな問題があると認識しており、今後社長及び関係者との認識共有を密にしていき、状況を説明する。

## 6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

## 7. その他

なし

## 参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000120.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000121.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000122.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000123.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html)

- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃(株)から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000124.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html)

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）  
「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000242.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html)

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）  
「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000243.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html)

- ・ 令和5年5月24日  
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
00:00:01	開始しました。
00:00:02	ただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。
00:00:06	本日のヒアリングは、令和4年12月26日に申請があった、再処理施設及び廃棄物管理施設、
00:00:14	令和5年2月28日に申請があったMOX燃料加工施設について、5月34日提出の資料をもとにヒアリングを行うものになります。
00:00:25	規制庁カバーの出席者は、本庁から古作。
00:00:30	岸野、大賀、尾野横山。
00:00:34	ウェブEXの出席者が紙で、
00:00:37	大橋、藤原、竹田、
00:00:41	羽場先、
00:00:42	山口田尻。
00:00:45	以上となります。それでは日本原燃から出席者の紹介と議題の構成の確認、説明範囲、達成目標を説明してください。
00:00:56	はい、日本原燃事務室の仲間です。
00:01:00	日本原燃側の出席者紹介いたします。
00:01:04	まずSteeringチームですけれども、決得。
00:01:08	今村、石原、関西電力様から野元様、石黒様。
00:01:14	あと、MOX及び再処理から事務局がこちらから参加してございます。
00:01:21	本日ご確認いただきます資料は、今後の進め方、昨日ご提示させていただいた今後の進め方を確認書きたいと思います。
00:01:31	それでは、説明の方変えさせていただきます。
00:01:37	はい、日本原燃石原でございます。
00:01:40	昨日、前回先週ですかねヒアリングをさせていただいてやりとりをさせていただいた内容で、
00:01:49	大きくまずあれですけどアイテムとして廃棄物管理を忘れないことということと、あとはサンプルでやると言ってるものの対象が一体どういうものを対象しているのかということを確認にすること。
00:02:03	あとは、今も複数で第1弾第何と言ってるけどもそもそも全体の優先順位からするとそういうことではないんじゃないのかということ全体をテーブルに上げた上で、

00:02:15	何を優先するのかということの順番をちゃんと考えることということ、あとはもう、
00:02:21	教授でやることってのは前提となる1ポツだったり、2-1だったりするんですけども、そのあとに出てくる2度2みたいなものも、どういうふうに進めていくのかってのをちゃんと戦略を考えることと、
00:02:33	というような、ご指摘やりとりがあったと認識をさせていただきます。
00:02:37	そういったことを踏まえて5月24日の今後の進め方というペーパーをの提示をさせていただいてございます。
00:02:45	細かくは書いてある通りですので、ご説明はしませんが第1弾第2弾第3弾ということで、第1弾がMOXを閉じ込めを、
00:02:54	ターゲットにした共通12の枠組み価値型であったりということの整理をしていくと。
00:03:00	耐震での書き方ってのもこの中で整理をしていきたいということでございます。
00:03:05	第2弾というのは、先ほどもありました最初にも、佐伯松川に全体を並べた上での優先順位を考えて次の人をどうするかと。
00:03:14	ということで最初の溢水とか竜巻とかSAとかをを題材にしていきたいということ。
00:03:21	あと第3弾というのも、こういうものがないとを挙げさせていただきます。
00:03:27	あと参考ということで一緒につけてますが、第1弾であったりサンプルであったりといっているMOXで出す閉じ込めの関係でこういったものが、資料の枠組みで出ていくのかと。
00:03:37	いうことを、整理をしている様を見せたのが参考資料で2万円、参考ではついてますけども、
00:03:45	一つは資料123のサンプルれるものを、
00:03:48	ステップ1といって第1弾の中でのステップに出てくるものということ、2枚目参考2枚目は共通12で、MOXの第2回申請ではこういった設計説明分類があるのかと。
00:04:00	いうことを言え、示させていただいてございます。
00:04:03	はい。
00:04:05	はい、すいません説明は以上になります。
00:04:10	規制庁横山です。それだけ規制庁から。

00:04:14	当初何かありましたらお願いします。
00:04:20	規制庁の田尻です。
00:04:22	ちょっと確認してきたいんですが、今開いている3ページのところでステップ1ステップに分けながらちゅう話なんですけど、今、以前、
00:04:32	取り込めと入っとか換気とか、そこら辺のものが1パッケージになっていってそこにあとお金もついてきて形だと思んですけど、今ここに書かれてるステップ1ステップ2というのステップ2のところに、廃棄設備施設とか換気設備とか麻生が書かれていて、
00:04:50	ここの関係なんですけど、
00:04:54	要は一つの設備だけじゃなく他のものも関連してっていうものが後ろに行ったような気もしつつなんですけどここの関係説明してもらっていいですかまずは。
00:05:07	はい。日本ネシアでございますはい。一つは前回その前もご説明します閉じ込めを起点としてという話をした時に町通常にご説明する時に終了日を何にするかと。
00:05:21	いうところで閉じ込めというキーワードを上げたとしても、その説明する対象物によっては関連部分がいくつか出てきますんでそれをどうふうに整理をしていこうかということが関係していきますと、
00:05:32	いうのがあります。
00:05:34	その中で閉じ込めの関連条文として、例えば以前話したのは、換気設備みたいのを説明しようとする、排気だったり換気だったり、
00:05:44	いうものの条文の適合性みたいなものの説明も区はできますよということでございます。
00:05:50	今回も同じように閉じ込めを使用時条文として整理をしていくという分類がある中で、こういったものがその分設計説明分類の設備に対して関連条文として上がってくるかっていうのを整理をしていたのが、資料に出てくる資料2のところに出てくる。
00:06:06	条文の名前になっています。はい。
00:06:12	規制庁館です。当資料に出てくる条文のところなんですけどまず閉じ込めが主条文でやっていきましょうねという話をしたときに、今までの構成だと、ちょっと共通0の話をするかってとこあんですけど、基本設計方針とか聞きながらやってきたやつと、浮き上がって後で具体的話を聞こうとしていた臨界とかそこのやつとかも今捨て、

00:06:32	1に書かれる形になってるんですけど、これは単に表記がされてますよという話で、説明としてはまず閉じ込めをやってその関連条文を示してますよというだけですか、それともこの中身の話もやりたいということ言ってるんですけど。
00:06:45	はい。日本原燃石澤でございますそこはちょっとちゃんと説明しないとイケなかったですね以前のやりとりで00は2-1のスタート前提になるものですと。
00:06:57	それを仮置きして共通事業を説明して、細かい話は別途やりましょうというものと、共通12を説明する中で、事前に1ポツに関わることをしっかりと取りをしないとイケないものっていうのが、
00:07:12	大きく分かれるんじゃないかというやりとりをさせていただいたと思います前々回ですかね。
00:07:17	そういう意味で今回資料に行くのは先大竹さんの質問に対して、それぞれまず答えるとする、置いておくだけっていうイメージが強いです。細かい話は別途やりましょうということ正しい。
00:07:31	臨界については第1回で初出しで第1回では登場してませんが、近隣からいじるところはありませんというのが前提のものになります。
00:07:41	それ以外のものについては、地震による損傷の防止、あと火災等の損傷の防止だったり溢水だったり安全機能S云々というところについては、材料構造、
00:07:52	当貯蔵の土岐第1回である程度、別紙1の話はさせていただいてるチームになると思ってますので、改めて今回別紙1をやって、2-1に行くというステップが必要ないんじゃないかと思っている人たちです。
00:08:06	一方貯蔵は、前提としてやるんですけどそういう意味で当然、前回前々回ですか2回ほどヒアリングさせていただいて0先にちゃんと固めて基本設計をして片付けないとねっていうところで、
00:08:19	今回エントリーをさせていただいてやらさせていただいてると。
00:08:22	在庫については、第1回で最初にやってることと、我々も憶測に変えるところはないと思ってますので最初にどこでやられていることを前提に置いたを仮置した上で、話が進められるかなと。
00:08:35	ということで、頭の整理はさせていただいてるつもりでございました。以上です。

00:08:42	はい規制庁の時ですと、金今回あくまで進め方で次回ぐらい四分以降ですかね資料が示されてどう進めていくかっていうところを具体的にやってく形になると思うんですけど。
00:08:53	目算でどこまでってところあるんですけど再処理でよくあったのは、テイヒ抜け過ぎて結局説明がごちゃついてっていうのが多かったところがあるので、今回の資料の1ページとか見る限りだと、当然、
00:09:07	具体的話まで書いてないとイメージもつきづらいから、糸川三上安保ぐ単身位を書きながら耐震とかの関係も示しながらという形だと思うんですけど、まずはどのように記載を最新の竜巻とかでやってた議論を踏まえながらどう整理して説明するんですよっていうところをやりながらステップ1踏んで、
00:09:23	それも踏まえながら結構、ステップ2で確認しなきゃいけない条文も多いような気がしているので、
00:09:28	そのあたりの進め方とかも具体的に確認していけばいいと思ってるのでよろしくお願いします。
00:09:34	はい、乾石田でございますはい。ステップ1立てステップ1、資料のご説明をする時にはまた資料出した時にですね当然
00:09:45	お話をさせていただかないといけないと思ってますどういいうつもりでこれを書いているのか、どういう位置付けなのか、ヒアリングでどう説明していくつもりなのかを明確にした上で説明させていただきたいと思いません。以上です。
00:09:58	はい。規制庁田尻つって、できればな資料を出したタイミングで、ヒアリングでどこの部分もいいんで説明しようとしてるのかを言っておいていただけるとこちら今、関係条文としかかりでそれなりの数があるので、
00:10:11	ヒアリングにてどう設定していくかっていうところではあるんですけど全部確認しようとするとなんて時間になってしまう気もするところなんですけど、やるところをまず絞りながらっていうんだったらそれなりの期間で見れるような気もするので、そういった点も含めて、
00:10:23	示していただければと思うのでよろしくお願いします。
00:10:27	はい。与儀石原でございますはい。承知いたしました。
00:10:33	すいません古作です。ちょっと今のお話を。
00:10:37	しっかりとフォローしきれなかったんですけど。



00:10:40	参考のところ資料2と書いてある条文がステップ1ステップ2と、なぜこの条文がこう入っているのかと。
00:10:50	ということ等で、田尻からはステップ2で確認する条文も多くなると思うのでと言っていたんですけど結局どうなるん。
00:11:02	のかどういう考えのもとに、ステップ1、どれだけやり、
00:11:06	ステップ2はどれだけやり、
00:11:09	それで終わるのかわかんないのか。
00:11:13	どうしていくのかっていうのを改めて説明いただけますか。
00:11:20	はい。2本目2社でございます。はい。ステップ1のところでは、まず、どういうことを説明したいのかというところですけども、
00:11:30	まずグローブボックスオープンとポートボックスフードを含むと書いてあるこのチームに対して、ここ、これを題材サンプルにした上で、資料1は一式になってしまうにしても資料1というところでどういう、いや、
00:11:45	役割を持って、どういうことを共通順位として示すのかと。
00:11:49	それが資料に資料3と、順次、渡り歩いていくわけですけども、資料2においてはどういうことを整理をして、骨格としてない。
00:11:59	駅達成したいのかと、ということ。
00:12:02	資料3は何だろうかというところの整理だと思ってます。
00:12:05	基本的には、まずサンプルでは資料1に資料2資料3の流れというものがどういう整理になるのか、そこで抜け漏れがなく、ちゃんと展開ができるのかという点と、
00:12:18	資料3としての、設計の具体の書き方だったり、図面等を使った機能設計の適合性というか設計方針通りものが作られているという説明を、
00:12:30	したいと言うのが、サンプルでのまず役割だと思っています。
00:12:36	その中で、グローボックスのこのチームのですね、申請対象設備リストの横を見たときの、
00:12:43	適合性を説明しないといけない条文っていうのがやはり幾つか、後で出てきます。それが資料に出てくる資料に出てくる、この条文になります。この条文で、
00:12:54	治療何の中では、こういった設計を、このグローボックスに対してこの条文の基本設計書のどれを使って展開を説明しなきゃいけないのかっていう整理を、

00:13:04	説明したいんですがその中で、小さいはフェータルが基本設計方針を1ヶ月ここでやりとりするのかというところだと思ってますけども、そこを今、
00:13:17	共通順位の世界でやろうということはあまり考えてなくてこれを、こういう形でまず書いてますということを前提に資料2の整理を、説明をさせていただきますこうと思ってます。
00:13:28	ステップ2も全く同じで、このグローブボックスのチームでやった骨格構成というか、それぞれの資料の目的を考えた上で、
00:13:38	他の設計説明分類喧嘩したときに、どういうパッケージで説明がされるかということと、資料3の具体的設計の話を進めていくと。
00:13:47	いうこと。
00:13:49	だと思ってます。確かに谷さんおっしゃったように資料2のところでは条文がいくつか出てきます。さらにステップ1例は、
00:13:57	12385678915 ぐらいですかね。さらに上記に加えてステップ203、4乗分加わってこれ全部の条文の00をやってから、共通順位に行くのかっていうと、
00:14:10	今のところそういうステップではないと思って書いているところがございます。
00:14:16	なので共通12が終わったから、00の世界が全部終わったんですかというところについては、ノーだと思ってました。いくつかそれでもやらなきゃいけないことは残っていると。
00:14:31	古作です。一緒原さん長々と説明いただきましたけど何もわからなかったなので、
00:14:37	改めて聞きますけど、
00:14:39	資料2で言っている条文と逆に言うと資料2って何だと。
00:14:46	いうことと言うと、
00:14:51	ここ書いてある条文の基本設計方針っていうのは、00資料別紙1でいろいろとありますけど、
00:14:58	そのうち、
00:15:01	対象で書いてある機器、
00:15:04	分類に関係するものの抜粋であって、
00:15:09	必ずしもステップ1のこのグローブボックスで挙げたもの。
00:15:15	に入っていないものも、ステップ2の方の、

00:15:20	設備の機器分類で、また出てくるものもあるっていいですか。
00:15:29	はい。すいませんでした。有賀議員者ですまず磯辺でいただてる Vs であります。はい。はい、古作です。そうすると、
00:15:36	とというかそれを表すのにステップ2の資料2のところは上記に加えと書いてあって、ステップ1で整理をしているものも登場するかもしれないし、
00:15:49	プラス、この条文の中で出てきていない設計方針が追加出てくることもあると。
00:15:58	ということだと理解をしました。その点から言うと、上の10何個の条文プラス、45分。
00:16:08	が、ステップ2でも話題になりということで、確認する条文が多いと。
00:16:14	ということで理解しましたが、そうすると、
00:16:21	作業量はかなり膨大でなって、ここまでは確認取れましたねというので、確認済みとして積み上げていくというのはなかなかステップとしてなくて、
00:16:34	ステップ1はあくまで
00:16:38	このグローブボックスというタイプのなかー。
00:16:42	大枠としてこういうふうに行っていけばいいよねっていう見通しを立てるとい、ただそれだけで、ここはほかにも展開できて確定ですねっていうものを仕上げたいと。
00:16:53	ということではないという理解でいいですか。
00:16:57	はい。日本や西原でございますすいませんそういったポイントがうまく掴みきれなくてですね、説明がぐらぐらしてましたね。そういう趣旨で今、ステップ2にもステップ1で出てくる設計説明ぶりでグローブボックスのチームを入れてるつもりでございました。
00:17:12	あくまでサンプルでは、枠組みを整理していく中身の議論はステップ2の中でやっていこうというふうに考えていました。
00:17:21	はい。補足です。今言われたグローブボックスがステップ1のステップ2にもあるということなんですけど、
00:17:32	今の話でいうとステップ2でブラッシュアップしていきますっていう意味合いもあるのかなと思いつつ、
00:17:40	資料2で書いてある上記に加えの残りの4乗分、

00:17:45	この4条文をステップー井Dグローボックスにも関係するのにもかかわらず、
00:17:52	切り分けていくと。
00:17:54	ということで、
00:17:57	それは、前回も少し話をしましたけど、本当に切り分けでいいんですかみたいなのはあるような気がするんですけど、そこはどんな感じになってますか。
00:18:11	はい。日本西浦でございますはい。まず一つはおっしゃっていただき例えばですけど、サンプルでやろうとしてるグローボックスの閉じ込めのところで例えば、
00:18:25	パネルの損傷しないという設計の前提に搬送が入っているということでそこは今は、サンプルの段階ではそういうリンクがあるよと、閉じ込め側での設計はこういうことを担保するんだよということを、
00:18:40	グローボックスの設計としては、やりとりをしようと、この料金に加えて入っているのは今、グローボックス以外の設計説明分類が加わることによって説明を追加しないといけない条文を、今四つ挙げてるつもりで今整理をしてますので、
00:18:56	サンプルとの切り分けはできるのではないかとということで整理をさせていただいたということでございます。
00:19:04	はい、古作です。
00:19:07	今、岩田さんサンプルはすでに作業は進めておられて、こういうふうに切り分けていこうねってイメージも、
00:19:15	現実のものとして、
00:19:18	あって、言われていると理解をしてますけど、その
00:19:23	状況というのでいいですか。
00:19:27	はい。日本に1社でございますはい。サンプルの方でき上がってましてそういった整理を頭にして、念頭に置いて今発言をさせていただいてます。
00:19:38	はい。補足です。わかりました。つつ、
00:19:41	実情でいうと、第8条はちょっとさておいてみたいところありますけど、
00:19:48	第1、16条20条30、23条というものは、個別の設備もあって、
00:19:56	それについてはステップ2の中に入っているんで、

00:20:02	まずはそれとセットで話をしていた方がいいだろうと。
00:20:08	ということから、ステップ1においては具体はステップ2でやりますので、こういう関連性を持ってステップ2側で、
00:20:16	やっていきますということだけステップ1で見えるようにして、提示がされると。
00:20:21	ということで理解をしました。
00:20:28	いいですかね。
00:20:31	はい。乳井西田でございます。はい。その通りでございます。はい。
00:20:37	はい。古作です
00:20:40	ようやく私も決着できたかなと思いますけど、
00:20:43	立石さんそういう趣旨で聞かれたっていうことでよかったんですかね。
00:20:59	これ。
00:21:06	古作です。ちょっと田尻の回線が消えちゃったようなので、
00:21:11	それは、
00:21:13	えっとですね。
00:21:15	横山さん電話するのにして確認を取ってもらって、
00:21:19	ちょっとそこは確認をしていきますけど、それでいう等も、そのフェーズの中でももう少し確認したいなという。
00:21:30	ところで言うのですね。
00:21:35	等と次。
00:21:37	米野。
00:21:39	種条文として関連条文をというところの一式と。
00:21:44	ということで、
00:21:48	その関連というところでは、
00:21:56	4ページの
00:22:04	設計説明分類というところの実績の中で、1から8と言っているのが、その閉じ込めが主条文だと言っているところの、
00:22:16	一色であり、
00:22:19	この1から8っていうのが、
00:22:23	その前のページで一通り上がっていると。
00:22:27	ということでいいんですよね。
00:22:30	はい、日本エネ者でございます。はい。おっしゃっていただいた通りでございます。

00:22:34	はい、古作です。
00:22:37	それに対する関連条文というのが資料2のところでは挙げられていてというので、
00:22:44	具体が示されている。
00:22:50	4ページの9から17についてはじゃあどうなるんだという、
00:22:56	第2弾、第3弾というところの中で
00:23:02	順次やっていきますということ。
00:23:06	なんですけど、
00:23:08	次の、
00:23:10	段階の話になっちゃうような話にしまったので、
00:23:15	ちょっとあれですが、
00:23:18	第2弾第3弾はまたつまみ食いの状況で書いてるような気がしていて、とりあえずこれをやらせてくださいしか書いてなくて全体像というのを示していただいているように感じないんですけど。
00:23:32	少なくともMOXっていう断面でいうと、
00:23:35	4ページの5、9から17はどういうふうに説明していくんですかと。
00:23:40	ということになるんですがそのあたりの整理状況はいかがなんでしょう。
00:23:47	はい。二本木西田でございます。はい。私も前回の宿題を全部テーブルに上げた上でということで4ページは少なくともボックスがこれで全部テーブルに乗せましたというつもりで、
00:23:59	もうちょっと大きく出ようとしたのが再処理がもしあれば大きく出たんですけどそれがいないので、ちょっと困っています。MOXこれを設計説明ブレーキと大きく分ければ4ページにある右側の分類が、大きな分類になると思っています。
00:24:16	ちょっと第2弾をつまみ食いの的っていうのはおっしゃっていただいた通りではあると思うんですけども、第2弾の再処理でやろうとしてるSAみたいなものは、第2弾で再処理が走っているのを見ながら、
00:24:31	第3弾等第4弾の中で、ジョイントしようというふうに思っていました。
00:24:37	河西磯田って残りは葛西統計法、これは第3弾で、セットで説明がうまくできればなと思ってました。そうするとじゃあ他はどうするんだっていうところを、ちゃんと整理をしないといけないと。
00:24:51	と言っても他残ってるものがあまり大きな論点を抱えているものだと思っていないところもあってですね、最後まとめて17条22条、8条、

00:25:02	14 条ですかね、一つのグループにしてやるっていうことを、もともとは考えてましたからそれは最初のテーブル載せた上で、果たしてどういうタイミングでどういうグルーピングでやるかってところを、
00:25:14	ちゃんと説明をしないといけないという認識でまずはいうところですが、そこがまだ説明しきれてないという認識でございます。
00:25:22	はい。補足です。
00:25:26	そのあたりを明確にして効率的に
00:25:30	行っていきたいということなんですけど、
00:25:36	第 11 条の火災については第 3 版でと書いてあってですね、第 3 番目と言ってるところの説明にもう、
00:25:47	先行してやると言ってる閉じ込めとの関係もあってと。
00:25:51	閉じ込めというかグローボックスと関係があつてというようなことを言われていて、関係があるのであれば、
00:26:00	第 1 弾のステップ 1 ステップ 2 の中でも出てくるじゃないかと。
00:26:06	いうことで
00:26:09	等 3 ページのステップ 1 にも、
00:26:15	第 11 条第 29 条を書いてあると。
00:26:18	ということなので、この部分、
00:26:23	だけで切り分けができて
00:26:27	第残りの、
00:26:30	第 11 条については第 3 版でいいんだというふうに本当になるのかなあと。
00:26:37	というようなのも若干疑問があるんですけど、その相関関係みたいなのはどうなるか、どうなってるんで、
00:26:46	はい。日本原燃石原でございます私どもが考えてるストーリーなのでいいかどうかはこの資料 Step1 でも何でも説明する中で、議論させていただければと思いますが、現状考えてますのは、
00:26:59	おっしゃっていただいたように火災として、グローボックスが火災の発生元だと考えて、超過設備で消火をすると。
00:27:07	ということになります。なので、グローボックスと消火設備は火災の消火設備が関係するんで、リンクがありますねと言っています。プラス、第ステップ 2 でやろうとしている換気設備、

00:27:20	この換気設備の負圧を引いた状態で消火をするという説明をしないといけないんでこれともこうするというので、セットで説明するんであれば、前の方でやらないといけないっていうのが、考えの、まず第一案だと思ってました。
00:27:36	我々の考えの場合とはいえ、消火のことを考えて排気設備をやっぱ考えるというよりは、排気設備の設計をまず固めてそれを前提に消火設備とのリンクを考えるんであれば、
00:27:49	大気は排気産休換気でまずちゃんと説明を設計をした上で、それを前提にして火災の説明をすると、いうことが、切り分けとしてできるんじゃないかと。
00:27:59	いうふうに考えて、火災を第3弾に持ってきたということでございます。あとは、
00:28:05	おっしゃってたようにこの資料2で条文をバーンと変えたときに、何の位置付けでこの資料に書いてなかったところが今のままだと、かなりバクツとし過ぎてよくわからないので、それぞれのステップでどういった、
00:28:18	この業務の中の基本設計をしてどういう枠の中、対象を扱うつもりなのかと、全部の建設業者並べるんですけど、この設計説明分類に該当するところだけがこいつだみたいなやりとりをしながら、
00:28:31	資料3につなげていきますんで、その関係。
00:28:34	ちゃんと整理をして説明する必要があるかなっていう認識も、今持ったところでございます。以上です。
00:28:43	と古作です。ありがとうございます。
00:28:47	結局はある程度の仕分けというのを、その断面断面で先ほどステップ1とステップ2の関係で話したようなところと、
00:28:58	同様に行っていただいて、
00:29:04	関連する設備のところで、
00:29:07	改めて説明いただき、最終的に相互関係として成り立つのかと、成り立っているのかと。
00:29:14	いうことを確認をしていくということになるのかなと認識をしました。そのため別紙C、00資料の別紙2から5みたいなところは、
00:29:27	その後展開していくということですけど、



00:29:30	火災の説明をした結果として、閉じ込めの方の火災関係ってところのフィードバックっていうのもあるかもしれませんが、そういったところも念頭に後段側での説明においては、
00:29:44	前段での関連条文のところの関係性と、
00:29:48	いうのも必要に応じ説明いただくと良いのかなと思いましたが、そういうことでよろしいでしょうか。
00:29:56	はい。有名者でございますはい。鮭いただいたようにこの関連する条文だと上げたものは全くリンクがないわけではないと思ってますので、このリンク紐づけを意識しながら、どこにフィードバックかければいいのかというのを、
00:30:09	順次やっていくという、それを明確にしていく必要があるという認識はあります。
00:30:17	はい。
00:30:18	姑息ですねよろしくお願いします。で、その関連性とかも見えるようにしていただく等、順番としてこういう順番で、フィードバックをこういうふうにかけてきますと。
00:30:30	ということがわかるかなと思うので
00:30:35	さらに見えるようにしていただきたいと、いうことなんですけど、今のは設備なりの関連性があるということでしたが、4ページを見ると、
00:30:47	直接設備としての関連はないんですけど、
00:30:50	10条の関連設備、関連条文ということでは言っている。
00:30:56	遮へい、外部衝撃という案。
00:31:01	全機能有する施設という条文が並んでいてですね。
00:31:06	これまた個別に説明が必要かみたいなのところもあるんですけど、そこはどう考えてますか。
00:31:14	はい。日本原燃石原でございますはい。おっしゃっていただいて今設計個別にまず具体で説明を展開するっていう必要性があまりないとも思ってます。
00:31:27	今回この設計説明分類1回に、5合理的にかつ効率的に、累計をしながら説明をしていくかという時に、今回はで、
00:31:38	設計の主たる条文になる人が誰かということに着眼して整理をしていきましたので今、関を主要、

00:31:48	条文ですかねしっかり条文と言ってるところを、の分類を意識して、設計説明分類を変えていくと。
00:31:57	おっしゃっていただいている器具はまさしくその通りでして資料。
00:32:02	もう3ページでいくと、取り込みが首藤にながら関連条文がいくつか出てきます。これ関連条文いくつか並べると、条文のごとに考えなきゃいけない説明の分類等を、
00:32:14	所要常務と言ってる設備の条文の設計の説明したい分類が合わないことがあります。そうなるとうなるかっていうと、
00:32:22	同じ説明を、その関連条文が出てくるたびに、しないとイケないと。
00:32:26	いうことになると思ってるんですけどとはいえそこは、資料2で基本設計方針を並べたときにこれはどここの資料でもうすでに説明してるものと同じですという説明で、基本設計方針の説明は、
00:32:38	うまく割愛できるような気がしてますし、
00:32:41	あとはどちらかという資料3でのその具体で設計をどう展開したのかっていう設計設備に着目した説明をしっかりとしていけば、
00:32:52	あまり重複感なく、説明が展開できるんじゃないかなというふうには思っていました。そこの説明の仕方だったり分類の重複性だったりってのをしっかりとサンプルを説明するときには、
00:33:03	説明をさせていただければと思ってます。以上です。
00:33:07	はい。補足です。天野将2、米。
00:33:12	関連条文で説明するときに、
00:33:16	2、結局はこっちの主蒸気んだと言っているところと同じ説明になるんじゃないかなというところがあってですね。
00:33:25	側溝のう。
00:33:27	重複感はないようにしたいなあということなんですけど。
00:33:32	その際2、
00:33:37	後回しにするというよりわあ、横にあれば、両方とも見合わせて、一体で確認をしちゃって、
00:33:47	フィードバックをかけられるみたいなこともできないのかなというふうには、
00:33:51	思うんですけど。
00:33:54	作業の都合上そうもいなくて関連の方を先にやってくれと。
00:34:00	いうことだとする等、

00:34:05	菅。
00:34:07	関連ではやっぱり部分的にしか話ができなくて、
00:34:12	主条文になってる時の話はプラスアルファがあり、その結果としてフィードバックがかかると。
00:34:19	ということもあると思うんですけど、そこはそのフィードバックの方を、
00:34:25	取り、
00:34:27	やっていきますっていうことなんですかね。
00:34:32	はい。与儀西浦でございます。はい。どちらを選択したかと言われると、フィードバックをする方を選択をしています。それは
00:34:42	ものを、
00:34:45	作り上げる時間軸と、こちらのスピード化との関係に今そうなっていますただ、
00:34:50	おっしゃっていただいたように私もパッケージを見て資料3がこれでもいいのかっていうときに、中身が全部KV載っていないのにこれでもいいのかっていう問いをするのもなかなか苦しいところがあってですね。
00:35:03	一定程度のものをのがアウトプットがもうすでに並んでいることが前提でやりとりをしていかないといけないという認識もあって、
00:35:12	正直 MOX と再処理で今出来高が大分違いますので、説明の仕方もちよっと変えないといけないかなっていうのが現状でございました。はい。
00:35:22	はい、古作です。わかりました。それで言うのですね、まずわあ、大枠としてのフィードバックをかけるという趣旨のもとスケジュール全体構成を、
00:35:36	整理をしていただくのは、それはそれでやっていただくとして、統一 II、全部フィードバックをかけるというよりはやれるものはせ、
00:35:46	あとで見れるようにもしていければというところかなと思うので、
00:35:51	少なくとも MOX はある程度できるのではないかというような雰囲気を感じましたから、
00:35:58	例示としてシスメックスは外せ、早めにその同時で合わせられるようにも作業ができるものはやってみて、
00:36:10	フィードバックでのやりとりの数をなるべく減らすと。
00:36:16	いうところで
00:36:20	行けるものは行くというところでの検討をさらに深めていってもらえればと思います。

00:36:27	それもまず最初に州のものを、いや、すべて関連でっていう最低限のところやってのが、
00:36:36	まずありつつ、残りの市場分としてるものが追いつければということかなと思うので、やりながらいけるかどうかというところで前倒しをしていくと。
00:36:48	いうことでいい、いいかなと思うので検討よろしくお願いします。
00:36:55	はい。日本原燃石田でございますはい。長期しまして当然ながらここで関連条文で十条で上がりながら所上部になってる人ってのはどんなことを、
00:37:06	ここで説明しなきゃいけないもんだのかってのが認識された上で、周りが認識した上で、こういうグルーピングをして、現場を決めているただ、そのリンクがちゃんとわかっていればある程度のものは作り、かつ、テーブルに乗せた上で議論ができるんだというふうには思ってますので、
00:37:23	今ほど言っていたいただいたような準備をしながら、並行してでも進めていければと思ってます。以上です。
00:37:32	はい、古作です。ファミリーさん途中で回線が切れちゃったようなんですけど、
00:37:41	田尻さんが発言されたところを少し私なりに理解を深めたいということで、
00:37:50	まず、ステップ第1弾というところのステップ12の関係性というので、ステップ2上書いている対象物に対しては、
00:38:03	条文として上記に加えと書いてあるので
00:38:08	ステップ1でやっていたとしても、改めて第4条以降を、
00:38:13	一通り、
00:38:15	グローボックスでは関係ない方針であっても、ステップ2での分類では必要になるという方針もあるでしょうからというので、
00:38:26	改めて一式またそれぞれ確認していかなきゃいけないと。
00:38:30	いう状況だということを理解をしつつ、
00:38:35	それをいかに効率的にやっていけるかというところはやってみて考えなきゃいけないことだなと。
00:38:44	いうことと、ここで関連条文ってなっているものについて、その後、集中条文にだって出てくるものがあるので、

00:38:54	その相互関係というのも、意識しながら、なるべく効果的にやっていければということで、今話をしていたというところですけど。
00:39:05	武さんがどこまで聞いていたかがちょっと言い、よくわからないんですが、その中で、もう少し具体についていうようなところがあれば言っただけですでしょうか。
00:39:30	発言が。
00:39:34	うん。
00:39:43	今、田尻さんから皆川ってちょっと、
00:39:46	通信の状況やっぱり悪いらしくて、ただ聞こえてはいて、おっしゃった通りですね、伝えてください。
00:39:55	はい。古作ですわかりました。
00:39:59	それで言うと、
00:40:01	まず第1弾のところちょっと第2弾第3弾の方まで少し話を展開しちゃいましたけど、
00:40:08	第1弾のステップー、二というようなところで、追加で確認すべきしたいと思うこともある方、発言いただけますと、わかりました。
00:40:18	はい。
00:40:23	規制庁上出です。1ページ目。
00:40:28	第1ステップの③番のところが、ちょっとイメージがよくわからなくてどんな資料が出てくるのかなってということなんですけど。
00:40:41	その耐震の、これは改造ですとか、
00:40:47	単純な基準地震動の変更による、
00:40:53	計算の紙だけですかいろいろありましてということなんだと思いますけど。
00:40:59	MOXは、この③の資料使わなくても、②番の資料で表現できるんだと、最初にはそうもいかないからこうなりますっていうのが③番ってことなんですかね、ちょっと。
00:41:13	イメージがまだ掴めないので説明いただけますか。はい。日本原燃石田でございますまず今赤嶺さんおっしゃっていただいた通り、
00:41:23	まず看板と言ってるものはMOXを②番の中で改造も含めて、設計の説明の中に全部組み込んで、セットもので出てきます。これは
00:41:35	設計を逆に1から説明しようとした時に、変更、要求の変更はなし関係なく設計方針との紐づけを、それぞれの設備にしていくとなると、

00:41:47	先ほど4ページを見せしたような条文にそれぞれ振り分けられて、順次説明をされていくと。
00:41:53	最初の場合例えば設備の純粹に設計を説明する場文書条文があったとしてもそいつは変更なしだと余計も変わってない。
00:42:03	言ったときに、金今は、単純にまず、
00:42:07	例えば耐震の要求に従って改造したという時には改造というフラグで整理をして、その改造というフラグがあった時に資料にし予算をどう展開をしていくんだと。
00:42:22	いう整理を、最初に特有の事項としてやってみたいというのが、③番でございます。
00:42:29	そういう意味でまとめ方が、とか記載の仕方を若干変えていくということの一つの案を出したいというのが③番で、
00:42:40	正直ですけど、やってみて、こんな1面倒くさいことするぐらいだったら丸2番と同じようにやったらいいやろっていうことになる可能性が出るとは思ってません。だからそういうやり方をやってみたいということで③番を挙げてます。はい。
00:42:55	はい、規制庁管理する資料がもうほぼ、5月末なので、液位つつあるということだと思いますのでまずは見たいと思いますけど、今石原さんが言っていたいたような、そういう、
00:43:10	背景の楠ではこうなんだけど再処理はこういう事情があってこういうか。
00:43:17	本当かすっだとか、②番のていと、この情報何、この情報と③番のこの情報がリンクしてますよみたいな、大元の考え方みたいのも一緒に、
00:43:29	わかるようにしてもらわないと、なかなか理解が進まないのかなと思いますけどそのあたりは、少し対応できますか。はい。新居上西屋でございます。まさしく今おっしゃっていただいた通りですみません案を作らせると表だけ作ってくるんで、それでは駄目だと今言って、考え方をちゃんとつくと。
00:43:47	いうことが、ベースはフルセットで、③番出させていただきます③番をつくるに至った考え方のベースの大元だったり、あとは②番の資料との関係性だったりっていうのを、
00:44:00	ちゃんとまず大元で言った上で、サンプルとしてはこういう形になりますよということの説明ができるようにさせていただこうと思ってます。

00:44:12	はい。規制庁深見ですよろしく申し上げます。あともう1点、ちょっと3ページなんですけど、
00:44:19	これは今話をしても、
00:44:22	しょうがない、今話をするようなことではないとは思いつつ、一応気になったので聞いておくんですけど、資料1のところに、第2回申請の一式ってなっていて3階4階は、
00:44:36	書いてないんですけど、これはおいおいおいとはいっても、第2回申請で整理を進める中で肉付けをしていくつもりということなのか、それはもうまた今度っていう考えなのか。
00:44:51	今のところ何か考えはありますか。
00:44:58	はい。宮城西浦でございます。
00:45:01	申請としては234と分けていくので申請の中にその設備は、全体すでに何回の開示出すかは第1回の申請認可をいただいている表にすべて載りますと。
00:45:13	今回共通にを展開する上で具体の設計も含めてご説明をするというのはベースは第2回だと思いつつ、
00:45:21	とはいえ、第2回第3回見据えたときは第3回以降見せたときにどういうものが登場するのかっていうのを考えながら、第2回の説明を聞いていただかないといけないという思いもありますので、
00:45:34	そこの全体の枠は第2回の中のいずれかで、ちゃんとお示しをできるようにはさせていただきたいと思います。はい。
00:45:43	はい。規制庁小峰です問題意識としては伝わっているとは思いつつ今はまだ足元を固め段階等でちょっとあまり先のことを見過ぎかなという気もしますけど、
00:45:55	いずれそういう話もできれば、特にやはり、資料2とかが、あまり限定がかかった内容で次回に行くと、またいろんなものが出てきてっていうのじゃ、
00:46:08	良くないと思ってますからその辺りは認識いただければと思います。私の方から以上です。
00:46:16	規制庁古作です。今の関係で言う等、先ほど話をした第1弾のステップ一、二っていうのも、その関連するところに特化していくということ
00:46:30	先を見通したというところが少ないというところの懸念点だと思います。

00:46:36	で、それもうやりながら 00 資料別紙 2 から 5 に展開をしていくという作業の中で共通化していけるような話になるんじゃないのかなと。
00:46:50	いう気もしますのでそのあたりで、別紙 2 から 5 にいけば第 3 回以来 4 回といったところの情報も入ってくるわけで、
00:47:05	見えてくるだろうと、それによってどの部分は第 3 回にも共通になるし、或いは出てこなくて第 3 回のものになるんですね。なのか。
00:47:16	第 2 回と共通する部分もあるけど第三、四回 4 回で、追加の何らか考慮事項が出てくるということかもしれないと。
00:47:26	いうところもう見えてくるというふうに思いますんでそういったところのポイントというのも、
00:47:34	00 資料への展開の際には、説明をいただけると良いのかなと思いますがいかがでしょうか。
00:47:43	はい。日本原燃志田でございますはいおっしゃっていただいている通りだと思います。別紙 2 の中で、分割申請を考えて次回でフィードバックが変にかからな良いということで、
00:47:55	全体を示しているということだと思っておりますので、別紙委員の中で、そういうことをご説明をしながらつながりがちゃんとできていると、新しいことが出てくることになる。
00:48:11	すいません古作です音声途切れてしまったように、
00:48:15	すいません今、
00:48:17	はい。すいません今 2 回繰り返して出てきちゃったんで音声今止まってしまいました。はい。
00:48:23	別紙の中でそういった分割申請での特徴も踏まえてフィードバックにかからないようにということは整理をしてご説明をさせていただきます。
00:48:32	加えて、ボックスならではなのかもしれませんが、条件としては第 3 回で 00 資料というかが初めて出る人たちが、
00:48:44	DB の中でも二つですかね、関東、非常用電源のチームがいます。これは羽田から設計であまりリンクがないということを前提に
00:48:55	お話をさせていただくということを、整理をあらかじめして、説明をさせていただくということだと思っておりました。はい。以上です。
00:49:06	古作です。
00:49:09	今話をした 00 資料に関してワー第 2 ステップの⑥ということで記載をされて、



00:49:19	ルーところですけど、
00:49:22	第2ステップ⑥とは言ってますが、ステップ1で、第1ステップD、話をしたものについては、
00:49:33	第2ステップ⑥ということで、やれると思いますけど、
00:49:37	第2ステップで出てきている方針部分についての展開という意味だと、第2ステップ後半ということなのか。
00:49:47	第3、ダイダン第3弾ということでやるのかっていうのはどういうふうに進めるつもりですか。
00:49:56	はい。日本弊社でございます。はい。そこを考えあぐねた結果、⑤番までを、第2弾は引きずって今書かさせていただいてるところであります。
00:50:08	とはいえ、第2弾とかで、関連条文でもともと上がっているものが出てきてしまうと。
00:50:15	あらかじめそのベースになるとこの別紙2から5が、
00:50:20	第1段階のところは答えとして整理ができてないと、入口が決まらない部分もあるんじゃないかなという危惧もありまして、個人的には、
00:50:29	できれば第2弾の前にやっておくということただそれをCケースにしてしまうと、ガサッと遅れるリスクもあるということで、採用スピードとの関係でそこは臨機応変にと言ってできてるためしはないんですけど、
00:50:45	臨機応変にやっていければなと思ってました。はい。
00:50:55	等、
00:50:58	古作ですけど、それでいうと、どう臨機応変にやるのか、少なくとも当面の状況ぐらいは、
00:51:08	わかるようにしていただきたいなと思うんですけども。
00:51:16	等、
00:51:31	第1ステップにおいても、主条文と関連条文がありて、先ほど言ったように
00:51:43	その関連条文で今後種条文となって出てくるものもあると。
00:51:48	いうところで、どこまでを
00:51:52	その00資料にフィードバックをかけてやるつもりなのか。
00:51:59	まず、まず手をつける者がいつ、どう出てくるかっていうのは、
00:52:05	次の段階明示的にしていただけますか。
00:52:11	はい。日本原燃石原でございますはい。コスト

00:52:15	最初のパーツの考えながらさっき、上宮な発言をしてしまいましたがおっしゃっていただいているように、少なくとも、第1弾と第3弾にいます第3弾のやつを始めるまでに、
00:52:27	やらないといけないことは何かということのリンクも含めて整理をした上で、どういうもの通り順番でやっていくのかっていうのを明確に、次回までにさせていただこうと思います。はい。
00:52:41	はい。補足ですよろしくお願いします。
00:52:45	これまでの経験からしても00資料の別紙シリーズを、議論していくっていうのをそれなりに双方負荷がかかる話だと思しますので、
00:52:56	あまり何度もやり直していくというのは法律的じゃないと思いますから、
00:53:02	どのタイミングでどの程度の精度のものでやるか。
00:53:06	いつと完成していくように進めていくのかと。
00:53:12	いうことは認識を合わせてやっていかないと、作業量がどんどん増えていってしまうと。
00:53:18	ということになり、みなさんの言われたスケジュールに合っていないところどころにどんどんはまっていくと思いますので、具体的イメージを明確にさせていただきたいと思
00:53:28	います。
00:53:34	はい。日本エネ社でございます承知いたしました。
00:53:42	はい。第1弾の内容的なところは、大体いいですかね。
00:53:51	西原でございます。いたしました。
00:53:58	古作です。そうします第2弾第3弾の話は先ほどつまみ食いになっているので全体像を示すようにっていうことはお伝えをしておりますけど、
00:54:09	す。
00:54:11	そう。ほぼそれをつけるような感じはあるんですが、今、その上でも第2弾第3弾ということで先行してこういうことをやっていきたいと。
00:54:20	いうことは書かれていますので、その観点で確認しておきたい或いは
00:54:28	押さえておいて欲しいということではおきたいと、というようなことがあれば言っていただきたいと思いますがいかがでしょうか。
00:54:54	古作です。甲斐千賀に大分危ないようなので、発言がないですけど、まず最初、

00:55:04	SA の関係は溢水との関連もあり、早めにやらないとということだったと思うんですが、今回提示のあったものだと、
00:55:20	大丈夫かなとちょっと心配になるような、
00:55:23	形で書かれてる気がしていいですね。
00:55:27	往々
00:55:33	第 1 弾でまあ、SA は先延ばしにします第 2 弾で再処理を市の中でやっていきますと。
00:55:41	ということになっているんですけど、本当にそれで成り立つのかというのが心配なんですけど、そこはどう考えになってますか。
00:55:58	はい。日本 2 社でございます。はい。
00:56:02	まず、すいません、大きく第 1 第 2 棟区切ってしまったので SA については第 1.5 段ぐらいの勢いでやらないといけないというまず認識がありながらも、
00:56:14	大まかに分けてしまったんでスピード感が伝わりづらかったというのは、こちらの書き方の間違いだと思ってます。
00:56:23	そういう意味でそういうスピード感でやるのであれば、今回第 2 ステップ第 1 弾の第 2 ステップで、MOX を骨格としてやるよりは、再処理の方が枠を開い
00:56:38	拾石関係性も多岐にわたるということで、こちらで全体像の整理も含めてやっていった方が、大枠整理がしやすいんじゃないかということで SA を最初に預けかつ、
00:56:52	第 2 弾といえば第 1.5 段ぐらいのスピード感でやっていきたいというふうには思っていますということでございます。その中には、溢水との関係であったりも含めて全体として整理しなきゃいけないも全部入れて、
00:57:07	骨格大枠から順番に細かいところまで整理をしていくという作業が必要だという認識でおります。以上です。
00:57:18	規制庁古作です。今言われたところでいうと第 2 弾というのを第 1 弾の第 2 ステップが終わる前にも提示をしていって、
00:57:30	多少、
00:57:35	平行した形。
00:57:38	になるような形での資料提示をしていきたいというふうに言われたのかなと思いますけど、イメージは合ってますか。

00:57:48	はい。稲毛委員です。石原でございます。はい。私の意気込みは合っています。はい。
00:57:56	はい、古作ですわかりました。それで言うと先ほど関連条文集条文って言ったのと似てはいるんですけど、
00:58:05	ます。関連条文であったとしてもさすがに部分的でしか、具体的話ができず、一番大事な着目点であるところっていうのがない中、
00:58:17	先行して話をするのは難しいので、
00:58:22	主で話をすべき再処理の方で、早めに手をつけ、それが展開できるようにしていくと。
00:58:29	ということで整理をしましたということで理解をしました。
00:58:35	そうすると第2弾能資料提示がどういうふうになっていくかということがポイントになろうかなと。
00:58:43	思います。
00:58:46	その際にですね、
00:58:49	SA の分わあ、そもそも具体的資料の3に入るような、2、
00:59:00	つまりいてしまって、資料2の作成にも着手しきれなかったと。
00:59:06	いうところなんですけど、そういったところでリセットがかかった現状において、第2弾の資料提示っていうのはどういうふうになっていくものなんでしょうか。
00:59:21	はい、二本木西原でございます。そういう意味で、第2弾の資料ページを竜巻とかすまんのように、共通時間いきなり入るということはできないというふうに思ってます。
00:59:36	設計もどういうところにどういう展開をしながらそれぞれ紐づけて書いていくのかということ、許可からの展開も踏まえた上で、おそらく許可の中ですでに世界が決まっているところをちゃんと書き合わせれば、整理ができるとは思ってますけどもそういったところの入口の
00:59:53	整理をまずちゃんとやるというところの資料提示をさせていただきたいと思ってます、それを今は共通十時17というキックで⑪番ですかね、に書かさせていただいてます。
01:00:06	とはいえ私も正直十時17を見てもいいですね、何を整理をしたいのかっていうのが伝わってこなくてそういったのも含めて整理をして提示をさせていただきたいと思ってました。
01:00:20	古作です。そこを

01:00:25	なんですね、吉藤 17 をもとに行うと書いてますけど、
01:00:29	何をすべきかがさ迷われたのでとりあえず十時 17 という枠でやりますっていうからやっていただきましたけど、
01:00:38	結局わあ、共通条文である重大事故対処設備というものの対応というのが、そこでクローズするというよりは、各条文での設備設計の説明に、
01:00:51	展開をしていくと。
01:00:53	いう古藤で具体を示しますという古藤になるんですけど、といっても
01:01:04	共通 12 という関係でいうと、
01:01:06	各条ごとに説明をしていただく必要もあんまりないよねと、結局可搬型設備ということでは、共通して説明ができちゃいますよねと。
01:01:17	いうことがあるので、共通条文を個別条文に展開しますと言いながらも、共通十字になるとまた戻ってきてっあわせて説明しますと、
01:01:28	いうことになるんじゃないのかなと。
01:01:31	いうことがあって、共通 12 としてどう整理をしますかという概念整理をするのに、共通十時 17 という場で話をしていく。
01:01:42	こうしたということじゃないかなと。
01:01:45	思っていてですね。
01:01:49	そのあたりの進め方というのを早くけりをつけるということが大事なんじゃないかなと思ってんですけど。
01:02:00	と、その点で第 2 弾の提示をしていくといったときに、十時 17 をもとにと言われた趣旨なり何なりを説明いただけるとは思いますが、現時点では、
01:02:12	どこまで考えがまとまっているものなんでしょうか。
01:02:17	はい。日本原燃石原でございますはい。フレームを確たるもの今お話できるかっていうと私の頭に入っているものだけになりますので、それをまず簡潔に述べさせていただきます。
01:02:28	まず重大事故としておっしゃっていただいているように、10、共通 12 で説明をしようと思うと、
01:02:35	重大事故の共通の条文の展開で十分説明ができるんだらうと。それが個々の設備でこういうものがここにぶら下がりますという説明の整理で、
01:02:46	共通的に整理が、説明ができるんじゃないかと。

01:02:50	それが正しく健全性説明書と個別説明書、あと、基本設計方針という第1章と第2章の関係性。
01:03:00	と、誤るんじゃないかなという思いがあってですね、そのの、
01:03:04	役割というかどういう構成でどういうことを設計として展開するのかという整理が、
01:03:12	できれば、その整理をまずちゃんとやるということかと思ってますその上で、共通中に持ってきたときに、この整理をしておけば、共通売りでは、
01:03:24	この頭を整理をしつつ、
01:03:26	下がってくればですね、全体が網羅的に説明したことになるんだということなんではないかなと。その入口をまずちゃんと整理をして説明するのが必要ではないかというふうに思っていたところでした。
01:03:40	はい、古作です。
01:03:43	それーでいうとですね、結局類型になるんだと思うんです。で、それが今回の資料だと4ページで、
01:03:54	MOXワーSAがそんなに多くないので、
01:03:59	このように、何となく書けた感じになっている。
01:04:04	ということだと思います。
01:04:10	本当はこれは、
01:04:14	10、11、12、
01:04:17	特に10ですかね。
01:04:20	これはDB設備としてということであり、SAとしては17の方に行くと。
01:04:26	いうことうになるんだと思うので実は関連性があり、
01:04:34	全く別で説明するというのでいいのかっていうのが少し疑問に思うところはありますが、ただ何となく分けて説明が、
01:04:44	もうできちゃうと、
01:04:46	ということで、何となくかけちゃってますけど。
01:04:49	最初の場合はSA条文の中にいっぱいあるのでその関連性を整理をしないと、類型という形でまとまりきらないので、それ。
01:05:00	それもあってこの表がまだ書けていないということなのかなとも想像をしたんですけど。

01:05:06	いずれにしてもそういう整理をして、このような表を、最初にも作らないとスタートをしないということかと思いましたけどいかがでしょうか。
01:05:19	はい。荷揚西原でございますはい。まさしく、先ほど言った整理をする目的は、4ページに負債処理のバージョンを作ると。
01:05:29	というのが、まずは第1なんかやらなきゃいけないことだという認識をしております。
01:05:35	前回以前ですね、SAの中でも話があった。
01:05:39	数十分類出して、これ事細かく説明しますって言いながら、そんな分ける必要あるのかっていう面もあったり、
01:05:47	屋内屋外可搬常設ですかねっていう分類でもできるよね。でもそれは、
01:05:54	個別の説明書を展開したときには個別の説明書としての機能が正しくあったときにはそれをどう説明していくんだって考えた上で、この分類でいいんだということの、
01:06:05	整理をしていかないといけないと。
01:06:07	ということだと思っておりますので、そういうことをちゃんと考えて整理をした結果としてこの分類額になりますよというのを再処理版を出すというのを、やらないといけないという認識で今整理を進めているところであります。
01:06:22	はい、古作です。それをやるためにワー、原燃の中では資料の2を、
01:06:31	重大事項、対処の条文それぞれについて、作って1T関連性をまとめて類型分類という形に、
01:06:42	集約させていくという作業をしてい。
01:06:46	その結果としてこの表ができてくるということなので、その作業の時間がまだかかっているという理解でいますけど、
01:06:57	合ってますか。
01:07:01	はい。宮城西原でございます。はい。おっしゃっていただいている部分とプラスと私がよく書きすぎてるといふかのリスクを考えてるせいかもしれませんがこれ正直資料2の世界だけで、
01:07:14	分類がこれでいいかっていえるかっていうと資料3まである程度作ってやらないと、何か踏ん切りがつかないところもあるんじゃないかという思いもあって、そこでいろいろと議論をさせていただいている作業してもらっているところではあります。はい。

01:07:28	はい、古作です。まさに立間キーにおいて資料3の部分を、話をしていた中で、やっぱり検討が足りてないよねと。
01:07:39	というようなことが明らかになり、フィードバックがかかって資料2のところ、方針がちゃんと整理できてないねということになり、その際に耐震の条文との関連性があるということが認識されてないよねと。
01:07:55	ということになりというのでどんどんと上流での整理の幅が広がっていったと。
01:08:02	ということなので、言われるように、重大事項においても、資料3を見通しながらやっていくというのはまさにその通りだなと。
01:08:11	いうふうには思います。
01:08:13	で、ただですね、結局その累計そんなにやる必要ないんじゃないっていう思うところからすると、粗々でも作って行ってこれで説明できるねみたいなのところを、
01:08:25	勘所を掴んでいけばさほどの労力をかけずともう見通しを立てていけるのではないかというふうにも思うところがあって、
01:08:36	何らか作ってやられてるんじゃないかと思うんですけど、現状はいかなのでしょうか。
01:08:51	はい日本原燃石原でございます。はい。
01:08:55	正直まだまだ私が説明できるレベルまで資料が整っていないプラス、とても古作さんと説明をやりとりして、これはどうなのあれはどうなのと言われて、これはこうですあれはどうですっていう説明ができるレベルに全然まだ達してないっていうぐらいです。
01:09:13	もうちょい時間がかかるかなと思いながら、今、録画通のうちには何らか説明のキックをしながら進めないといけないそれも、
01:09:23	末まで引っ張る気もないっていうのが今現状、私の認識ではあります。はい。
01:09:29	古作です。今サポーターの瀬川さんはいらっしゃいますか。
01:09:35	はい。います。はい。しゃべらせませす。はい。補足です。瀬川さんにちょっと聞きたいんですけど。
01:09:42	何そんな状況なのかなっていうところで、他のところの作業状況みたらどんな資料3が必要かっていうのは、イメージができますと思いますし、
01:09:53	関連スルー。
01:09:57	部署は多いと思うので、



01:09:59	比較的理解をされている部署の人に1、1案作ってもらうっていうことは、
01:10:07	比較的簡単にできるような気がするんですけどどういう作業状況なんでしょうか。
01:10:22	間違った場合、日本原燃の瀬川です。
01:10:25	高坂さんのおっしゃる通りですねパーツだけを整理するんであれば全然そんな
01:10:33	素材ですね、素材をお見せするという観点で資料を整えるんであれば、そんなに難しいことではないんですけども、
01:10:40	やはり上流からしっかり流したときの整合性という部分で、
01:10:45	まだまだちょっと詰めなきゃいけないね。
01:10:48	いう部分がちょっと見え隠れしていると。
01:10:51	言ったのが実態ですね。
01:10:53	なかなか整理しきれないというところでございます。
01:10:58	ちょっとサンプル的に申し上げますと、許可いろいろ議論をさせていただいて、SEについては結構踏み込んで設計方針、
01:11:09	許可の断面でも書いてますので、
01:11:11	背上流からの整理というのは比較的容易なんですね。
01:11:16	で、最後、設備の設計に落とす時の、
01:11:20	昔の共通12で言うところの配慮事項みたいなところですね。
01:11:26	あれがやはり多少
01:11:28	ちょっとグレーだなというような、
01:11:32	項目があってですね、それをきちんと設計方針として、書き起こさなきゃいけないんじゃないのといったところの
01:11:39	実設計と、上流から見た時の設計方針の間のこのフィードバックですね。
01:11:44	これにちょっと少し手間取っているというのが今の実態でございました。以上です。
01:11:51	はい、古作です。それで言うと先ほど少し話のあった各条文とかを見ながら、どうやっていくかっていうようなところに論点はあまりなくて、
01:12:02	結局は共通条文である重大事故対処設備の要求で、機器の健全性をどう確保していくかといったところの、屋内屋外であったり

01:12:14	外部事象対応なのか大分事象対応なのかというところの、骨格の種類、
01:12:24	を押さえて、
01:12:26	置くこと自体もそんなに論点はなく、
01:12:30	特2外部事象なり、屋外というようなものに対して、
01:12:36	どのような健全性の確保というポイントを分けた分ける必要があるか、見ていく必要があるかという詳細のところ。
01:12:47	になってるような気がするので、
01:12:50	それでエバー、そこでこういうのもあるよねこういうのもあるよねというのをいくつかで作ってみて、まとめられるかなあ、分けた方がいいかなあというような古藤。
01:13:03	ぐらいじゃないかと思うんですけどいかがでしょうか。
01:13:09	はい。日本原燃の瀬川です。おっしゃる通りかと思いますが実際1回な並べてみてですね、
01:13:18	やっぱり一泊思います自治会にですね、
01:13:22	SAの種類は屋外屋内常設可搬という最初4種類でいこうというふうに思っていたところなんですね、ちょっと具体例、先日の現地確認でもちょっとご指摘あったところ、
01:13:35	参考にですねちょっと具体例述べさせていただきますと、
01:13:38	先日の確認で、ガラス固化建屋の袋小路になっているところ、
01:13:45	での溢水についてご説明をさせ複雑になってあそこで想定破損での没水によって、温度計の細管が没水してしまいますと、
01:13:56	いう説明をさせていただいていたんですね。そういう説明をさせていただいて、一旦想定破損であって、想定破損でSAが発生するわけではないので、
01:14:06	没水してしまった場合には直ちに排水して復旧させれば良いというような説明をさせていただきました。
01:14:14	一方で、許可のときに、想定破損に対する溢水に対策をした、一方で、想定通りにそのまま文章読むとですね、
01:14:24	可能な限り位置的分散を図るということと、没水に対して健全性を確保する設計とする、こういった非常にこういった非常にチュウチョコテキですね。
01:14:36	ここをきちんと表現とってるんですね。

01:14:39	復旧措置も含めて健全性を確保すりゃいいよねというそのつなぎをですね、1個1個ちゃんと整理しないと、説明しきれないだろう。
01:14:49	いうところで結構、ちょっと、
01:14:52	作業が止まってるわけではないんですけども、難航してるというのが実態でございます。そういったところを、1個1個全部整理してからではなくて、もう
01:15:03	アライドラインですね。
01:15:05	一応ある考え方をもって健全性を確保するという事で、物事ものは作ってますので、これはこういう考え方でやっていますこれはこういう考え方でやっています。それ以外は、
01:15:16	従来の設計方針通りで、しっかり守れてますみたいな説明を、
01:15:22	数を重ねて網羅性を確保していくようなアプローチであれば、順繰り説明はできるかなという印象でございます。以上です。
01:15:30	はい、古作です今言われたようにですね、
01:15:35	抜け漏れがないように、ちゃんと
01:15:39	体系を立てておけば、1部分について許可で書いてあることそのものではない、或いはその
01:15:49	許可で書ききれてないと。
01:15:51	いうようなところを、埋めていかなきゃいけないっていう認識は、早めに共有した方がいい。
01:15:58	けども、その部分をどういうふうに表現したらいいのかっていうのは、
01:16:04	じっくり考えていただいた方がいいので、拙速にやるのもよくないし、或いはそれが
01:16:13	ネックになって出せないっていうふうにするのもよくないと。
01:16:16	いうことだと思うんで、その体系を整理をし、この部分はこういう関係から、検討していきますという方針が述べられていれば資料提示されるのは一向に構わないと思い、
01:16:31	ます。
01:16:31	大分悩んでいる趣旨が理解できましたので、今のお話の中で進めていければいいんじゃないかなと思いますけど。
01:16:41	ご理解いただきました。
01:16:47	はい。日本原燃の瀬川です。はい。趣旨は理解しました。と、
01:16:54	とは言っても一定程度やはり、

01:16:56	整理というかですね、普通整理は最低限必要だと思いますので、ちょっと石原と、
01:17:01	どこまで引き上げれば出せるかというのをちょっと思い、今一度相談しながらですね、できるだけ早めに前広に出せるように対応したいと思います。以上です。
01:17:12	はい。補足です。その点では石原さんに確認ですけど、今言ったようにまず体系を整理をする。
01:17:21	ていうところが大事で、その体系の中どういう、
01:17:26	穴埋めが必要かみたいなところの認識共有を早くした方がと思うんですけどいかがでしょうか。
01:17:34	はい。荷揚仁科でございますはい。説明をしないといけない確認をしないと生きていかなきゃいけないのをちゃんとステップを分けて、整理をさせていただきますおっしゃっていただいたように、
01:17:47	枠組みをちゃんと決めていくっていうことをまずはちゃんとやっていくんだと思いますので、ちょっと説明のステップをちゃんと分けてですね、時間軸に沿って整理をさせていただければと思います。以上です。
01:18:00	はい、古作です。それで言うと、⑪の十時 17 を基にっていうのを、もう少し具体的に強い、こういうような内容を順々に明確にしていきたい。
01:18:13	資料提示していきたいと。
01:18:15	ということで次回提示の時には内容がわかるようにしていただければと思います。
01:18:23	で、その提示時期に応じてですね、具体的にしていくのはじゃあ、いつまでにだねっていうなことで、わかればいいと思いますのでよろしくお願い致します。
01:18:35	はい。弓削西原でございますはい。承知いたしました 11 番のところの中に 17 と、さらっと書いてしまったところこれ何をどういう順番でっていうの、
01:18:45	あとスケジュール感を明確に、次回、までにさせていただきたいと思います。以上です。
01:18:51	はい、補足です。で、その上で溢水の方は、まず 00 資料別紙 1 での説明ということなんですけど、その別紙 1 のなかー。
01:19:04	なのか横なのかわかりませんが、重大事故との関係でっていうことがあったと思います。それで言うと、⑪の今の話の整理も踏まえながら、

01:19:17	やってかなきゃいけないというところもあるんで、その関連性も説明いただきたいと思うんですけど。
01:19:24	そこは、現状で何かいえることがあるのかいつぐらいに揺れるようにしますということなのか方針を教えてください。
01:19:34	はい。日本原燃石田でございますはい。これは溢水をやってもらおうと思ってコントロールしてもらおうと思う今村と話をしながら進めようと思ってます。ただ
01:19:46	私としてはこの0野辺一穂の別紙1をやりますと、
01:19:51	いう時に、SA側での整理であったり、別紙を抜く添付書出野リンクだったりっていうのがある程度片づいてないと。
01:20:01	この説明漏れ聞いのじゃないかなという気もしてまして、そこは、10番をやる前2、11番の中で先ほどあった優先順位、何をどういうふうに整理していくか。
01:20:14	いうことも含めて明確にして、人計上を図るということが必要だという認識でございます。
01:20:21	はい、古作ですわかりました。
01:20:24	そうしましたら次回なのか自治会なのかわかりませんが、少なくとも次回にどういうふうにスケジュールなり、進め方というのを、具体的にしていこうかと。
01:20:36	いうことはわかるようにしていただいてSAと溢水の関係というところを見えるようにしていただければと思います。
01:20:48	はい、日本ギリシャでございますはい。承知いたしました。
01:20:53	はい。で、古作です。で、その次に12番で竜巻があるんですけど、余りにさらっとしていてですね竜巻には問題点がいっぱいあったと思うので、その、
01:21:03	解決に向けたプロセス、
01:21:07	スケジュールというのがわからないのでその辺りはどうなってるのか説明してください。
01:21:25	関西電力の石黒です。竜巻につきまして前回の面談の時、面談ヒアリングの時に課題があるっていう話を差し上げた時にその時合わせて、
01:21:41	順次共通受理の中で、その議論をしていくのか、先に話していくのかっていったところが、少しちょっとグレーだったかなというふうにちょっと思っていて、今ここではですね、

01:21:53	共通0中で説明するという整理で1回書かせていただいたんですけども、
01:21:59	できればですね、
01:22:03	ちょっとこないだ話しさせていただいたみたいに、対策を伴う話なんで、そこはある程度クリアにならないと、しづらいところはあるんですけども、準備ができ次第、
01:22:15	お話はさしていただきたいなというふうに思ってます、タイミングとしましては、どうしてもちょっと7月に入ってしまうのかなと思うんですけども、案件について何が、
01:22:26	以前の審査会合から、問題になっていた問題というかつて課題になっていたといったところを含めて、一度テーブルのせるような、
01:22:38	取り組みをしたいなというふうには考えております。以上です。
01:22:41	はい。補足です。最終的には共通12まとめていただいて、
01:22:48	適合性は説明いただく必要があらうかと思うんですけど、
01:22:53	その作業をするために検討に時間がかかってましてだとするとその検討が適切かっていうことを説明いただかないと、
01:23:00	またやっちゃったもんねみたいな感じになって、いやそれおかしいでしょってまたやり直したいな。
01:23:07	あまり効率的じゃない効果的じゃない適切じゃない。
01:23:13	作業プロセス。
01:23:15	になっちゃうような気がしてですね。
01:23:18	その点でしっかりと状況を説明をするということは、
01:23:25	少なくともこの進め方ヒアリングにおいて、明示的にしていただきたいというふうに思います。
01:23:32	その上で最低限こういうところは話しましょうよと。
01:23:36	というようなこととお話し、
01:23:41	具体的に共通中にまとめる前に、どういうことが必要かと、いうことはクリアにしていければというふうに思いますのでよろしく願います。
01:23:52	はい。関西電力の石黒です。承知しました。論点スクリー提示して、共通中に、
01:24:00	作り込みで失敗したり後戻りないように、極力配置していきたいと思しますのでよろしく願います。

01:24:13	ちょ、谷さんちょっと待ってね。
01:24:30	そうですね。
01:24:32	はい、どうぞ。
01:24:36	佐治さんどうぞ。
01:24:48	なんですけど、
01:24:49	最後のところでまた設計仕様を示してくださいねっていうことで、ちょっと待ってね。ないねここですか。
01:24:58	日本レジャーです。さすが私も苦しいですね。
01:25:04	SIMMER-III 今音聞こえますか。いえ。
01:25:09	はい。何とか聞こえます。はい。
01:25:12	田尻です。竜巻に関して、論点となる場所といったようなお話があったんですけど、
01:25:20	前回会合のところでは、論点は論点なんですけど設定したらどういうふうに設計仕事しているか、まず基本的な考え方をちゃんと説明してねっていうところから始まっているので、先ほど7月のような声も聞こえたんですけど
01:25:34	この時点で何を示すのかというところをしっかりと整理いただいて、説明進めていただければいいかなと思うんでよろしくお願ひしますというのが1点と、あと今、桂っていう話で出てきたんですが、一緒にこの間現地確認を少しさせていただいて、
01:25:48	今の線源が少し不明確なところもあったので、溢水とか他のものでもそういうものがあるのであれば、十分とか、でき高かった審査の進め方の場でもいいと思うので、説明していただければと思うのでよろしくお願ひします。
01:26:01	聞こえましたか。
01:26:03	はい、日本エリアでございます。トップ技術なかったですけど2件あったと思ってまして1点、竜巻に関しては先ほど古作さんとやりとりをさせていただいたように、どういうふうに設計を見直しなり考えるかっていうところはしっかりと整理をして、
01:26:20	前広にというか説明をしてくださいということ。
01:26:25	2点目が、竜巻に限らず、現地調査でいろいろやりとりをさせていただいたので溢水とか他のものでも同じようなものがあれば、

01:26:34	そういうステージで、設計についての説明をする部分というのもちろんと設定するようという、大きく2点だと理解をしましたけどよろしかったでしょうか。
01:26:44	はい。その2点なので、よろしくお願ひします。とりあえず自分から営業ですすいません。
01:26:53	はい、古作です。
01:26:59	今で第2弾の12番までということになっていて、
01:27:06	13番で上記説明に合わせて廃棄物管理と、
01:27:11	いって、第3だということなんですけど、
01:27:18	廃棄物管理がなぜここに来ているのかってというのは何か意味ありますか。
01:27:29	はい。日本原燃石原でございます。まずお詫びを申し上げます。等、どこかに入れなきゃいけないと思ってここに入れましたとはいえ、まずですね考えていたのは廃棄物管理施設として単独で説明しなきゃいけないものがあるか。
01:27:47	いことの視点がいっぱいあると思ってました。それでまず、私個人的には廃棄物管理と単独で何か説明しないといけないものはあまりないんじゃないかということを前提に、
01:28:00	この13番に石列島廃棄物管理は割れるというふうにかかせていただきました。
01:28:08	古作です。それで言うと、
01:28:11	第2弾のところに廃棄物管理で気をつけなきゃいけないことってほとんどないんですよ。
01:28:19	どちらかというとな第1弾で行っている再処理の改造というところ、改造等なのかな。
01:28:28	再、初めの方に上出が言ったところの関係で、結局はこれもその評価だけで済むというところになるんだと思うんですけど、
01:28:38	そこがメインであると思っていて、あとは火災防護とか外部衝撃なんかはもろもろ、同じですというだけのものなので、
01:28:51	早めにですね、先ほど
01:28:55	第1弾第2弾第3弾というところの全体像としてどう進めるのかという整理の中に、廃棄物管理も入れて、
01:29:03	関連するものがどこか。



01:29:06	その部分で、確実に拾っていくと。
01:29:09	いうふうに作業工程を組まれる方が適切ではないかなと思うので、その整理を早目にしていただきたいと思いますがいかがでしょうか。
01:29:24	はい。2上西瀬谷でございますはい。おっしゃっていただいた通りだと認識をしておりますので、まず、まずは全体テーブルに乗せた上で、
01:29:34	関係するものが何かというところで、て、テーブルに上げたものを順次優先順位決めていくという作業を載させていただいて提示をさせていただければと思います。
01:29:46	まさしくそういう作業をすると、本丸で説明しないといけないのがないよねみたいな話に多分なってきた改造だけかみたいな話に着目できると思いますので、
01:29:56	そういったことをやらせていただきますはい。
01:30:00	はい。補足ですって、第3弾の方に、
01:30:05	行きますと、これまで話したことの繰り返しになる
01:30:11	と思いますので、同様に整理をしていっていただきたいと思いますが、何か個別に言いたいことがある方いらっしゃいますか。
01:30:28	よろしいですかね。特に MOX の火災とかも先ほど重大事故との関係でも触れましたので整理を進めていきたい、いただきたいと思います。
01:30:38	その上ですね、
01:30:43	前の方でも触れましたけど、
01:30:47	まずは細かなスケジュールというよりはする考え方をということで作っていただいたので、
01:30:55	しょうがない部分はあるんですけど、少なくとも当面のところは具体的にしてということで今日だと5ページのところ2、2週間のスケジュールというのを、
01:31:08	つけていただいているんですけど。
01:31:10	ここまでの話で言われたことっていうのがほとんど具体化されていないですね。
01:31:18	この辺りは一体どういうことなんだろうっていうのを説明いただけますか。
01:31:25	はい。日本エネ者でございます。はいその点については大変申しわけございません。

01:31:32	この文章を考え方を作りながら今後考え方を展開すると、どういう大枠のスケジュール感になるかってのは当然、
01:31:42	作ってた上で議論をして、この形にしましたので、これのベースを展開していくとどういったスケジュール管理第一段落の第2弾は一区の第3弾はいつっていうのはあります。
01:31:55	それを、すいませんいろいろと悩んだ結果つけなかつただけですので、そういったものも含めて提示をさせていただくことが必要だという認識はありますので、
01:32:06	社内で議論をして、ちゃんと展開をして、つけさせていただくと。
01:32:10	ということかなと思います。はい。
01:32:12	はい。補足ですよろしく申し上げます。これまでのやりとりの中で必要性は十分認識いただいたと思いますので、相互に関連するものがあるので、どこで話をした結果がこっちにも反映されるんだなと。
01:32:25	いうこともあたりしますのでよろしくお願いをします。
01:32:29	そうする等、
01:32:32	おそらくあれですよねこの2週間スケジュールでは表現しきれなくてもうちょっと漠とした全体工程みたいなものと、その上で資金は具体的日付を踏まえてということでのに中間スケジュールとと。
01:32:45	というような形になるように、
01:32:48	感じましたけどそういうイメージでしょうか。
01:32:52	はい。宮城西原でございます。はい。おっしゃっていただいているイメージでございます。はい。
01:32:58	はい、古作ですわかりました。であれば次回それを提示いただきたいと思います。そうすると次回というのはっていうことになって、この5ページでいうと、
01:33:13	来週ワース進め方のヒアリングを2日にやると。
01:33:20	いうことになっていてそこでは、提示いただいて、話が聞けるということと理解をしますけど、
01:33:29	いつぐらいに提示っていうことでしょうか。
01:33:38	はい。宮城に1社でございますはい。スケジュール的にはヒアリングをやりたかった時期はおっしゃっていただいて2日の今午後に緑枠付けてますがここでやりたいと思ってました。
01:33:50	資料自体は、

01:33:52	31日の水曜日には出さないとなという思いでもおります。そこはそこに向けて、
01:34:03	社内での議論をしながら、
01:34:05	資料をブラッシュアップし、必要なところを書き出していか追加っていうよりも、さらにもう1回作った方がいいのかもしれないですけど、はい。作り上げていきたい。
01:34:14	思いますはい。
01:34:16	はい、古作ですよろしくお願いします。
01:34:20	何で今資料提出予定のところに書いてなかったんですかね。
01:34:32	はい。二本木西浦でございます。今言われてそうだなと思いました。はい。金曜日にヒアリング置いてあったらその資料いるやろって話だよね。はい。書きます。はい。
01:34:43	はい。よろしく。
01:34:44	ます。で、その枠には共通中にサンプルと、それに関連する00資料と、
01:34:52	いうことで記載をされてるんだと思いますけど、この00資料は、
01:34:58	あれですか別紙CKは念頭に置かれてるんだと思うんですけど、別紙2カラー以降についてはどうされてるのでしょうか。
01:35:08	はい。荷揚と一緒にございます。はい。資料の提示で幾つか反映しないといけないところは当然あるんですけどとはいえ中途半端な状態でやりとりをしてもという気もあって今回資料1と資料4、
01:35:22	を抜き出して、提示をしようと思ってます何で資料4が出てくるかということについては、共通上に、を作る上で、やはり添付書ん書類の関係性を整理していく等こういうところをやはり足さないと説明が繋がらないよねみたいのが出てきてそこで
01:35:40	配慮事項とかで足したものを適宜反映したものということで、00をセットでお出しをしようと思ってましたダイトはそこで別紙4をまた1からヒアリングしてクリアしていこうというよりは、
01:35:54	共通住民側で本体として説明をしていこうと思いつつも、関係するものとして積ませていただくということで、提示をさせていただこうということでございます。
01:36:06	はい、規制庁不足です。わかりました。今の関係で疑問点とかおることいらっしゃいますか。

01:36:20	はい、わかりました。それで提示いただいてそのヒアリングは7日寄って、
01:36:27	ね。
01:36:34	古作です。で、
01:36:41	一応全体としては、資料提示から1週間ぐらいは確認時間をとってということなので、このように入れられてますけど、
01:36:50	全体工程の中でどういうふうな進め方が必要かという中でも、
01:36:56	どれぐらいの時間を取ってやっていく必要があるかという、その確認の深さなりということの、
01:37:03	意味合いとして今後精査をしていかなきゃいけないかなというふうには、
01:37:09	思ってるんですけど全体が見えないのでここで今1週間が適切かどうかも含めよくわからないと。
01:37:15	いう状況なんですけど、
01:37:19	何分サンプルって、
01:37:25	そちらが想像している回数で本当に話がクローズするのかと。
01:37:30	というのが疑問なんですけど、どう進めるつもりですか。
01:37:44	はい
01:37:47	これ私、
01:37:49	はい。
01:37:50	米田でございます。はい。
01:37:54	まず資料提示からヒアリングまでは今1週間という枠を取らさしていただいています。これはどういう確認のステップが必要かというふうに見ていただくかということも含めて、
01:38:08	我々の方もつくりながらなので類のところもありますし、サンプルをやりながらちょっとやりとりのスキームだに時間軸を掴んでいければなと思ってました。
01:38:20	当然ヒアリングをやってますか。
01:38:24	当然ヒアリング時に修正した箇所なり範囲が、どのぐらいなのかっていう規模感も見えてくればそれとのリンクでヒアリング前の日程を調整をさせていただくということもあるかもしれませんそれは、すいません

01:38:38	やりながらステップを踏ませていただければというふうに思っていました。あと全体の工程の中でというところについては、全体を引きながら、
01:38:49	決得含め、これでということで、納得をしていただきながら進めていますので、その枠の中かと思ってました。はい。
01:38:58	古作です。とりあえず初号機にもなるころがあってですね、あとは3ページを見ても条文も関連条文多いですし、
01:39:11	どこまでこれまでのコメントを踏まえて作ってきたかというのをこちらも見えていかないといけないので、そ疎開は時間が必要なというふうに、
01:39:23	思うので、これで仮置きはしておきつつ、資料提示の後に金曜日で進め方のヒアリングと、
01:39:33	ということもあるので、その際に多少の感触を、
01:39:37	踏まえてその後の進め方というのは議論できればいいかなと。
01:39:42	いうふうに思います。
01:39:47	はい。日本原燃石田でございますはい。その辺りも含めて、はい。よろしく申し上げます。はい。
01:39:54	はい。補足ですと言いつつですね。
01:39:57	そのあたりの、その後に、20日に審査会合の予定を入れて、
01:40:04	いて、それに向けてどうするんだっていうのは、
01:40:10	どうお考えでしょうか。
01:40:22	はい。二本木2社でございます。はい。
01:40:27	19の週というお話を以前聞いてそれが発からということは今認識をしました。はい。
01:40:35	とは言ってもこのスピード感でいくと、サンプルを提示をしヒアリングを1回で、次にもう1回資料直したとしても20日間におそらくヒアリングはできない可能性が高いと。
01:40:48	ということだと思います。かつ、当然ながらその次の審査会合で2ヶ月開いて、何らか状況説明をしないとというやりとりを前回させていただきました。
01:41:01	2月3月の審査会合の資料を見ると、言っていることはあまり変わらず、竜巻が閉じ込めに変わっただけみたいな状況でしかなくて、あまり

	多くを語ることはないんですがこの全体の進め方みたいなものも含めて、
01:41:16	お話をさせていただくのかなというふうに思っていたところでしたのでどちらかという中身というふうに思っていたところがございます。来週の金曜日にやる。
01:41:30	全体の進め方をどう我々として組み上げていくかという点とそこにおける今のサンプルでやろうとしていることっていうのが一体これまで説明してきたこととどういう関係なのかというところの説明ぐらいが、
01:41:42	19日の週の20日の日にできる範囲かなというふうに思っております。
01:41:49	はい、古作ですそうだろうなと思いますので、その具体的にしたものを、いつぐらいに提示されるかというようなことも次回のヒアリングで説明いただけるように、或いはもう、
01:42:03	その中で提示されてもいいんですけど、
01:42:07	整理をして、提示いただければと思います。
01:42:14	はい。日本原燃石田でございます。はい。おっしゃっていただいて、取り止めますのはい。次のヒアリングの時に、進め方の会計版というか次の番号を合わせてもし審査会合の、
01:42:28	こんなことをしゃべりますというのがもしできれば併せて提示をさせていただきますし、また次回のときに、具体的にどう考えているのか、イメージを少なく口ではいえるようにはさせていただきますはい。
01:42:42	はい。補足です。えーっとですね。
01:42:47	あと、今の関係から前回はどれぐらいの話をしたのかというのは、
01:42:52	新野。
01:42:54	手嶋。
01:42:55	田野ですが、あそこは前回は、
01:43:00	地震しか見ないか。
01:43:03	はい。前回は引かなくてですね4月の24日の会合で来期は使用する前2回生の話をして、
01:43:15	そこでMOXを主体とした閉じ込め条文でニノイチをやりますよと、いうことを言ったにとどまっています。
01:43:23	で、実際の位置に関する説明は2月と3月、2月が大枠の案、考え方みたいのをやって、

01:43:33	具体を図面を出しながら図面の位置付けがようわからん状態になって3月でも同じようにこういうふうに整理をしていきますという考え方を説明しているという段階でした。はい。
01:43:47	はい、わかりました。その意味でわあ、4月はMOXの閉じ込めと言うけど、具体の整理がまだついてないので、方向性だけで最初に方針をというだけだったところからすると、
01:44:00	今回もう、
01:44:03	大枠の進め方ではありつつ、
01:44:08	その数名られるぞみたいなどのイメージとして何らか提示されるということもあるのかなとも思いつつ、
01:44:17	それも元の作業状況機関なので、次回、そこら辺を確認させていただければと思います。
01:44:28	はい、宮城西田でございます承知いたしました。
01:44:33	はい。補足です。で、その上ですすねえ。大分牛歩なわけですが、
01:44:41	先日、昨日なのですかね。社長、記者懇談会。
01:44:48	で、
01:44:49	相変わらず発言としては、
01:44:55	地盤の申請内容の妥当性を説明するという事で、
01:45:04	現状でいいんだというようなスタンスのもと説明がされ、
01:45:09	その結果なのかどうかわかりませんが、
01:45:13	補正については、申請書不備というものの対策をすればいいんだと。
01:45:19	というような形で、秋ぐらいには出せるというようなことを言われたようなんですけど。
01:45:25	そんな作業状況とはとても我々のヒアリングの状況では思えないんですが、
01:45:30	原燃の社長はどのような認識でおられるんでしょうか。
01:45:36	決得さん。
01:45:37	はい。逃げ抜けてございます。社長への状況ですけども社長も審査が遅れているということは認識していて、
01:45:47	我々から入れてますので認識はしてるんですけども、書類の中で少し中、我々ちょっと思わなかった言葉でしゃべってるという実情がございます。

01:45:58	ただこれ社長の気持ちの代弁なのかどうかわかりませんが、やはりその遅れるにしてもどんだけ遅れるかちゅうか明確でない時点においては、現状、要は申請した時点の、
01:46:10	スタンスをもう一度繰り返してしゃべってしまったといったところから、私はちょっと想像します。ちょっと、先ほど長谷川管理官からも電話で押すお話、
01:46:20	いただいておりますので少しちゃんと整理して、原燃としてどうやっていくのか。
01:46:26	量もちゃんと意思をしていかないといけないなという認識になっております。決してですね基準通り、秋野補正とか、
01:46:36	そんな状況でないことは我々今ここにおけるメンバーは十分認識して進めておりますただちょっと、外向きの言い方と、中での整理というのギャップがあることが、
01:46:48	実態ありますのでその辺を埋めるべく、努力していきたいと思います。申し訳ございません。以上です。
01:46:54	古作ですけど。
01:46:57	下からはそういうふうに言うんだと思うんですけど上に通じなければ何の意味もないんですよ。
01:47:09	遅れているということはちゃんと入れている認識をしてもらっているというのであれば、何で口を滑らすのかっていうのは、
01:47:19	大変してもらえますか。
01:47:26	第当間。
01:47:29	なんでことか。
01:47:32	それ正直なところ、あの日そこがわからないところでちょっと会計等私どもは社長としゃべってないのでもう一度そこをちゃんと確認した上で現在のスタッフを決めて、
01:47:45	お話したいと思います。以上です。はい、古作です。そういうコミュニケーションが大事なんだと思うんですよ。
01:47:52	前回の記者懇談会だったのか、いろいろと話を聞いていますと、
01:48:00	言っておきながら、
01:48:03	遅れているのを聞いておきつつも見通しなんかも話をせずに、
01:48:08	現場と違う見通しをしゃべっちゃうというのはコミュニケーションしてないとしか言いようがないですよ。



01:48:14	なので、社長がみずから聞きますといったことを実現していないということのみずから証明をしたと。
01:48:22	いうことでしかなくて、
01:48:24	そういったところわあ、とてもとてつもなく問題。
01:48:29	です。
01:48:30	組織云々じゃなく、トップ1人の問題。
01:48:34	になっていて、明確なので、
01:48:37	その点は会合でも何らか言わないといけないかなというふうに思ってますので、今、決得さん言われたように社長とのコミュニケーションをとって、
01:48:47	A社としてどういうスタンスなのかと。
01:48:50	というようなことはしっかりと行っていただきたいと思いますのでよろしくをお願いします。
01:48:58	はい。そういうことになると、認識、そういうことになる。お願いします。はい。はい、わかりました。
01:49:09	はい。補足です。
01:49:12	ちょっと、
01:49:13	一つ、
01:49:15	何でこんなことになるのかという想像だけお伝えをしておく、
01:49:21	コミュニケーションが足りないということにはつけるのですが、
01:49:25	通常、
01:49:27	規制機関、行政機関の中で、トップ2とのコミュニケーションをどうしているかという、
01:49:34	レク資料を作り、想定問答を作り、
01:49:37	いうことで、よくやっていて、皆さんもやっているでしょうし、地方自治体もやってると思うんですけど、
01:49:44	想定問答の中には、
01:49:47	作業がどういう状況ですかという質問は当然あり、
01:49:53	こういうところ時間を費やしているという実情の説明があり、
01:49:58	そうすると見直しはという裾更問があり、
01:50:02	それについてはどうこうというふうに、
01:50:06	現状だと答える必要があるのではないかという現場の意見をまとめ、
01:50:12	トップと相談をし、

01:50:14	トップと意見合わせをしていくと。
01:50:17	それによって共通認識を持っていき、その共通認識でトップはしゃべれるようになる。
01:50:24	いう。
01:50:26	作業が当然あるんじゃないかなと思うんですけどそんなことやってないんですか。
01:50:32	すいません。そ想像しゃべると言っておきながら質問になっちゃいましたけど、
01:50:37	いや、やっております。
01:50:39	予備分やって QA はやっております。
01:50:42	すいません。録音されてる状況ですけども、読み文は非常に読み運動量読んでいただけると。
01:50:50	QA のところになると少し、少し過剰かは別として、発言があるというような状況です。認識がないのかというと、決してそうではなくて、すいません繰り返しになりますけども、
01:51:04	我々の会社の特徴でもあるんですけども関係をしてコールが多いというところで、遅れるといった場合の場合はその先を見越した状態を言わなきゃいけないという、
01:51:17	のがあって、それが確定するまでは現状通りというスタンスを通したというふうに私は想定しますので、この辺少し、ちゃんとコミュニケーションをとってどうだったのか確認した上で、審査会合ですかヒアリングですかちょっと場所は別として、
01:51:32	お答えするようにしたいと思っております。以上です。
01:51:36	古作です。
01:51:39	まずですね、私がなぜわざわざ想定 QA とかっていうような話をしたかという、
01:51:44	その際に、いろんなステークホルダーがいるのはわかりますけど、
01:51:48	その中でどういう発言をするのが適切かというのをそれぞれのステークホルダーの関係から、視点を踏まえて、
01:51:58	トータル、
01:51:59	問題のないように、池合わせをしていくと。
01:52:02	ということが大事であって、

01:52:05	どちらかの面からのコメントを採択するとかってということじゃないんですよ。
01:52:11	それは IIIAS の問題でもあって、原燃はその IIIAS もうまく調整できてないんですけど、
01:52:17	そういうコミュニケーションをとるといふことの遡上土壌が構築されていないっていうのが問題なんじゃないかなというふうに思ってます。
01:52:29	或いはそういうふうにしていこうという、トップマネジメントが聞いていないということです。
01:52:35	そのあたりも含めて、社長とコミュニケーションをとって状況を教えてください。
01:52:42	はい、了解いたしました。
01:52:50	はい、古作です。
01:52:55	原燃には、
01:52:58	ヒアリングの文字起こしに用紙もつけてるっていうことはお伝えしてました。
01:53:06	ホームページで公開しているね。
01:53:09	はい。ホームページでそういう形で、今後、切り替える時に今後そうしていきますよというアナウンスはいただきました。これ関係者には集中をしておりますはい。
01:53:19	はい、古作です。一応ゴールデンウィーク明けから運用してまして、前、
01:53:26	あと、
01:53:27	設工認のヒアリングを今回
01:53:30	1 回目あります。
01:53:31	やってますので、今の
01:53:37	やりとりについても、用地としてもまとめ、
01:53:41	ます。
01:53:42	のでその点はよく認識をしてみてください。
01:53:53	はい。承知いたしました。
01:53:57	古作です。それで進め方で大分時間かけちゃいましたけど、
01:54:06	次回の進め方ヒアリングでの資料なりでは、より具体的に見えてくるところはあろうかなと思いますので、対応よろしくお願いします。
01:54:18	ほかになれば、以上としたいと思いますが、

01:54:22	懸念は何かありますか。
01:54:26	与那嶺が特にございません。今おっしゃったように理解的にはより具体的に進め方の提示をさせていただきたいと思います。以上です。
01:54:35	はい。
01:54:37	これまでこれまでここ数回ヒアリングで
01:54:42	振り返りのときに、
01:54:44	文字起こしを試してみたいなことをやってみましたけど、今日は進め方のヒアリングだから、
01:54:52	なくていいですか何か準備できてます。
01:54:56	はい。二本木の磯田でございます。手はもらっていてただ私が全然まだ見れてない進め方なので取り入れてございます。具体的には、先ほどあった9日、
01:55:12	項目に対しての具体性もったりだったり、優先順位の問題を、あとテーブルのせいということだと思いますので、今回は特に必要ないかなと思ってたところでした。はい。
01:55:23	はい。補足です。わかりました。でしたら
01:55:27	今後の具体的なヒアリングの際には
01:55:33	またやっていただくとして、前は5分間ぐらいの休憩をとった上で、
01:55:42	イヤーでというふうに運用しましたので、同様にやっていくのかなと思いますけど、その休憩の中でですねなるべくポイントを明確に、
01:55:54	要点をまとめると、いうことは努力していただいて対応いただければというふうに思ってます。
01:56:03	はい。日本原燃瀬谷でございます。5分なりの時間をいただく目的はおっしゃっていただいたように打ってもらったもののパーツを全体としての
01:56:13	何ていうんでしょう、まとめだったり、細かい話をちょっと病院としてグルーピングして、ポイントが押さえられるようにということが必要だと思ってます。正直
01:56:24	左斜め前に今画面に、我々の方ではもう1回写ってるんですけど、それ見た瞬間に矢部これ違うかな。
01:56:31	言ったらやめたいっていうのが正直なところですか。
01:56:34	はい、古作です。なるべく議事の進め方ワーズ、論点がわかるようにというように進めているつもりではあるんですけど、

01:56:44	どうしても
01:56:46	漏れがないようにっていう意味
01:56:49	流れを持ってしゃべっているところもあるので、振り返りでは、そのままではいけないところは多分にあるんだろうなと。
01:56:57	思って、
01:56:58	ますが、
01:57:00	売ってる人1人ではなくてですね、或いはスピーカーとなる Steering チームの1人でもなくて、他の Steering チームの
01:57:11	メンバーが少しサポートする安江はこういうことじゃないのっていうことで、フォローしたりとかですね、相互に連携をとって、なるべく
01:57:23	共有しながら、ヒアリングを進めていくというようなことも一つやれるんじゃないかなと思いますので今後いろいろと工夫していただきます。
01:57:35	はい。宮城西原でございますはい。業務を見ながら、斜めん前を見ながらやってましたけど、ちょっとしゃべりながらこれやるのは多分無理なので、おっしゃったようにうまく体制組んで、
01:57:47	効率的にできるようにというやり方を考えていきたいと思っておりますはい。
01:57:53	はい古作です。よろしければ以上としたいと思います、
01:57:59	規制庁横山です。
01:58:01	そしたら、ほかに規制庁から何かあるかは、
01:58:05	いらっしゃいますか。
01:58:09	日本原燃から何か連絡事項等がございますでしょうか。はい。
01:58:14	特にございません。
01:58:18	水中横山で最後に私からちょっと進め方日スケジュールのことで1点お話ししてよろしいでしょうか。今回いただいた資料で5ページ6ページで、これまで
01:58:30	いただいてた、2週間スケジュールが今週来週となっていたのを、以前、
01:58:35	先日連絡して、新の来週再来週にしてくださいというので、子会社で直した形で、進め方ヒアリングに関しても、この日希望というのを書かれて、
01:58:45	いるので、何とか今日見たく一昨日に、いついつやりますとかってなるとなかなか会議室の確保とか、準備とかで、

01:58:54	スムーズにいかない部分もあるので、今後、
01:58:57	見ると改善されると思いますので、今後こういう形でまた、
01:59:01	スケジュールの方をきちんと調整しやすいようにやっていただければと思いますので、よろしく申し上げます。
01:59:08	はい。握りシェアでございます。はい。承知いたしました。
01:59:14	それではこちらで本日ヒアリングを終了します。6をお聞きします。